



2024.05.31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2113

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★「幼児のためのおはなし会」

○日時：6月4日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○対象：幼児 ○定員：10組程度

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本－乳幼児から>

『かるがもひなちゃんおんなじおんなじ』 かんちくたかこ/ぶん 箕輪義隆/え 川上和人/監修 アリス館 2024.3 ¥1100

せなかのてんてんもようをめじるしにしてあるく、5わのかるがものひなたち。おかあさんにつれられていけにひっこすとちゅうで、いろいろないきものであう。てんとうむしとはせなかのてんてんが、あまがえるとはあしのみずかきがおんなじ。かめさんとはどこがおんなじかな？身近な生き物に興味を持つきっかけとなる絵本。「かるがもひなちゃんえかきうた」楽譜の付録あり。

<絵本－5, 6歳から>

『あるくバスでいくん』 深見春夫/著 文芸社 2024.3 ¥1500

ながいことおなじところにたっていて、あきあきしたバスでいくんは、よそへいってみることに。いなかのほそいみちや、やまのてっぺん、えきのプラットホームにだって、バスでいくんかたいていればバスはやってくる。さて、つぎのいきさきは？淡々とした味わいとシュールな展開のギャップがユーモラスな絵本。2021年9月に中国の電子工業出版社が刊行した作品の日本語版。

『すごいせほんのちからって！ モーリスのおうちはライブラリー』 ディディエ・レヴィ/ぶん ロレンツォ・サンジョ/え はしづめちよこ/やく イマジネーション・プラス 2024.2 ¥1700

ネコのモーリスは、ネズミをたべるために、ほんをよんでやっておびきよせるさくせんをおもいついた。さっそくおごえでよみはじめると、ネズミたちがあつまってきたが…。物語の力が心を繋ぐ絵本。表紙の「長靴を履いた猫」をはじめ、ページのあちこちに散りばめられた小説やコミック、映画の名作パロディも見どころ。2023年イタリア・ボローニャ国際絵本絵画展入選作。

<絵本－小学校低学年から>

『あさいち』 大石可久也/え 輪島・朝市の人びと/かたり 福音館書店 2024.3 ¥1000

よがあげるころ、うみやたけでとれたものをまちまではこび、あさいちどおりにみせをだすひとびと。「こうてくだー」「ふぐいらんけ」よびこみやおしゃべりがとびかい、いちばはきょうもにぎやか。石川県輪島市の輪島朝市を取材し、リアルな息づかいを写し取った絵本。初出は月刊絵本「かかくのとも」1980年1月号。令和6年能登半島地震の被災地の復興支援として復刊。

『おちびさんじゃないよ』 マヤ・マイヤーズ/ぶん ヘウオン・ユン/え まえざわあきえ/やく イマジネーション・プラス 2023.2 ¥1700

からだのちいさいテンちゃんは、ひとりでなんだってできるのに、どこへいってもおちびさんあつかい。そんなテンちゃんのクラスに、おなじくらいちいさいマルくんがてんこうしてきた。おとなしいマルくんにいじわるするいじめっこをみて、テンちゃんは…。プライドと勇気をもって行動する姿が爽やかな絵本。第70回青少年読書感想文全国コンクール小学校低学年の部課題図書。

<絵本－中学生から>

『おかあさん観察図鑑』 クォン・ジョンミン/著 わたなべなおこ/訳 NHK出版 2024.2 ¥1600

「わたし」と一緒に生まれたあたらしい人類「おかあさん」。新生児である「わたし」と一緒に、「おかあさん」の生態について観察しよう！赤ちゃんの視点から母親の日常の一コマを図鑑ふうを描くことで、コミカルな中にも、子育て経験者が共感できる「リアル」が満載の絵本。孤軍奮闘するおかあさんへのエールにあふれた1冊。第62回「韓国出版文化賞」受賞作。

<読み物－小学校低学年から>

『犬がえらんだ人』 今西乃子/作 くまおり純/絵 合同出版 2024.3 ¥1600

まっしろな、白い犬……だったはずの犬。いつも庭の桜の木に繋がれ、吠えると飼い主に叩かれる。ある時、川原に置き去りに。やがて出会ったおじさんは時間をかけて、犬との距離を縮めていく。日本のペット達の悲惨な現状を見て「動物愛護支援の会」を設立したオーストラリア出身の愛犬家マルコ・ブルーノ氏の実話をもとにした物語。動物を飼うことの責任を教えてくれる1冊。

<読み物—小学校中学年から>

『たとえリセットされても』 森川成美/作 双森文/絵 文研出版 2024.3 ¥1400

町中に監視カメラが張り巡らされ、精巧につくられた人間型のロボットが存在する近未来。引越してきた小学4年生の愛は同じクラスの柚果と友達になる。柚果の言葉に戸惑ったり、クラスの女子からあることを疑われたりしても、お母さんから言われたことを素直に守ろうとする愛だが…。先進技術が日常に浸透する世界でAIロボットと少女たちが儚くも強い絆を結ぶ物語。

<読み物—小学校高学年から>

『誰も知らない小さな魔法』 大庭賢哉/作・絵 静山社 2024.3 ¥1500

魔女とその弟子が、魔法の修業を行っているある街でのこと。突然フクロウの声が聞こえた樹。引越し先で自分の部屋のドアを開けると元の部屋につながってしまった奈月。コヒトが見えるようになった知紗。魔女と弟子たちがかけた小さな魔法がおこす少しだけ不思議なお話6篇を収録。漫画と小説で構成される物語。作者は児童書の挿絵などを多く手掛けるイラストレーター。

<読み物—中学生から>

『宙わたる教室』 伊与原新/著 文藝春秋 2023.10 ¥1600

柳田岳人は21歳で都立高校の定時制の2年生。担任で理科教師の藤竹は、数字に強い岳人の特性に気付き、科学部へ誘う。様々な事情を抱えた生徒たちを巻き込みながら、科学部は火星のクレーターの実験を始め…。大阪府立高校定時制の科学部の実話をもとにした、学ぶことを諦めない人々の青春小説。第70回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部課題図書。

『カラフル』 阿部暁子/著 集英社 2024.2 ¥1600

中3まで打ち込んでいた陸上競技を怪我のために断念した荒谷伊澄は、高校の入学式の朝、駅のホームでひたくり犯を捕まえる。その時、犯人の前に立ちふさがろうとしたのは車いすに乗った少女。彼女は伊澄と同じ高校の同級生・渡辺六花。帰宅部の伊澄は、六花と同じ電車で帰宅することが多くなり…。挫折を味わった少年たちの青春物語。『青春と読書』連載を加筆・修正。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『どうやってできるの?チョコレート』 田村孝介・立脇卓/写真 ひさかたチャイルド 2023.1 ¥1300

普段何気なく口にしているみんなが大好きなお菓子チョコレート。原料となるカカオから板チョコレートになるまでの工程を様々な写真で紹介する。変形・折込ページあり。チョコレートを使って簡単にできるクッキングコーナーも収録。『サンチャイルド・ビッグサイエンス』2016年度2月号を改題、改訂。第70回青少年読書感想文全国コンクール低学年の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『正解のない絵画図鑑』 鮫島圭代/著 京谷啓徳/監修 幻冬舎 2024.3 ¥1650

レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」、クロード・モネの「睡蓮」など31枚の有名な絵をもとに、絵画の見かたについて対話型鑑賞をベースで紹介する。キャラクター達のつづやきの中に画家の人となりや歴史的背景、専門的な知識、多様な見かた・感想が綴られる。豊かな感性を育む本。作品情報や巻末の画家紹介などの掲載もあり美術の学習本としても充実の1冊。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『ヤバすぎる!偉人の勉強やり方図鑑』 真山知幸/著 大和書房 2024.4 ¥1500

「ファールは、休日にゾウムシを100匹捕まえて生態を調べた」「太宰治は、原稿1枚書くのに、2、3回辞書を引いた」等、偉人100人の勉強のやり方を紹介する。見開き1ページごとに偉人の勉強のやり方、プロフィールや生い立ち、偉人が残した言葉、エピソード等を掲載する。作者は、伝記作家・偉人研究者・名言収集家。いろいろな勉強の取り組み方や名言に出会える1冊。

<ノンフィクション—中学生から>

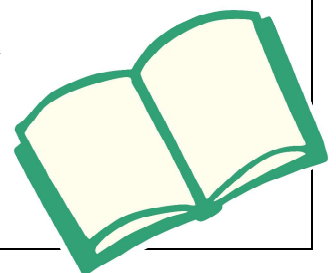
『10代に届けたい5つの“授業”』 生田武志・山下耕平/編著 大月書店 2024.3 ¥1800

当事者にとっては非常に切実な問題だが、学校では大きく取り上げにくい課題の中から、ジェンダー、貧困、不登校、障害、動物という5つのテーマについて、支援に取り組んでいる専門家が行った授業を書籍化。若者を「加害者」にしないことを目的とした授業では、野宿者への襲撃など、実際に起きた事件も取り上げている。様々な生き方の人との出会いとなる1冊。

<研究書>

『チームでつくる探究的な学び 授業のヒントは学校図書館に』 桑田てるみ/監修・執筆 全国学校図書館協議会 2024.3 ¥3000

教育課程の中で、探究的な学びを仕組める場面は様々にあり、学校図書館を活用できると学びの幅は広がる。本書では、探究的な学びに対応した学校図書館づくりから、授業での実践事例まで、多数の写真や図を掲載して紹介。学校図書館担当者だけでなく、学校全体で取り組むためのヒントとなる1冊。掲載されたワークシートは、全国学校図書館協議会のHPからダウンロード可。



※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

